

【樹木の部屋】

アコウ（クワ科イチジク属 *Ficus superba* (Miq.) Miq. var. *japonica* Miq.）

和名：アコウ(榕) **別名**：アコギ、アコミズキ、オホギ **英名**：Ficus superba

バラ目 半常緑高木 **原産地**：日本

花言葉：情熱、魅力 **花の色**：



← 写真-1 アコウ

撮影日：2017年08月27日

撮影場所：香川県直島にて

撮影者：M さん



↑ 写真-2 アコウの小枝

撮影日：2017年08月27日

撮影場所：香川県直島にて

撮影者：M さん



← 写真-3 アコウの葉

撮影日：2017年08月27日

撮影場所：香川県直島にて

撮影者：M さん

→ 写真-4 アコウの果囊

撮影日：2017 年 08 月 27 日

撮影場所：香川県直島にて

撮影者：M さん



香川県の瀬戸内海に浮かぶ直島を訪れた際、港から少し奥まった所にある民家に植えられていました。果実(果囊)が珍しく、カメラに納めました。

住人の方に、名前を聞きましたが、「解りません」との返事。帰宅後、調べて「アコウ」と知りました。初めて目にする樹木です。

和歌山や四国南部、九州以南に自生していて、枝や幹からたくさんの気根を垂らして、岩石等にも根を張っているようですが、ここでは、気根は見られませんでした。(幼木のため無かったのか、気がつかなかったのか・・・)。

別の木に寄生して根を垂らし、最終的にはその木を覆いつくすので、絞め殺しの木とも呼ばれています。

花期はほぼ通年。イチジクと同じように雄花、雌花、虫えい花が中に入った直径約 8mm の球形の果囊を、枝や幹に直接群がって付けます。果囊は、はじめ白っぽく、成熟すると淡紅色になるそうです。アコウコバチが中に産卵し、羽化して外に出るときに入り口付近で雄花の花粉を付けて他の花へ媒介するそうです。熟した果実は食べられるそうです。雌雄同株。

<ちょっと一言>

＊国の天然記念物：本州及び九州の巨樹、分布北限地及びその付近が指定されています。

- ・三崎のアコウ（愛媛県西宇和郡伊方町）
佐田岬に 7 個体のアコウが自生。
- ・松尾のアコウ自生地（高知県土佐清水市）
松尾神社に 3 個体のアコウが自生。
- ・高串アコウ自生北限地帯（佐賀県唐津市）
アコウの北限地。
- ・奈良尾のアコウ（長崎県南松浦郡新上五島町）
奈良尾神社に幹周 12m の巨樹が自生。
- ・内海のアコウ（宮崎県宮崎市）
野島神社に 4 個体のアコウが自生。うち 1 個体は枝張りが 40m×20m もあるそうです。